

平成28年12月12日
総務省統計局

第76回人口・社会統計部会の審議において整理、報告等が 求められた事項に対する回答

1 就業構造基本調査の変更

(1) 報告を求める事項の変更

ア 育児・介護の実施頻度の追加等

- 1 育児の実施頻度を「家事・育児時間」として把握する代替案について、女性の育児時間をより適切に把握する観点から、2時間未満までの区分を統合し（3区分を2区分とする）、スペースを確保した上で、「6時間以上」の選択肢を「6～8時間未満」、「8時間以上」に分ける必要があるのではないか。
- 2 現行の「子の育児をしていない」という選択肢については、未就学児はいるが日常的に育児に関わっていない者と、未就学児がいないため育児をしていない者が混在することになるため、両者を区分する必要があるのではないか。
- 3 （育児の実施頻度を「家事・育児時間」として把握する代替案について）現在の案では、「子の育児をしている」者のみが「家事・育児時間」を回答することになっているが、その流れが分かりづらいのではないかと。

(回答)

- 1 ご指摘を踏まえ、家事・育児時間の選択肢区分について、「6時間以上」の選択肢を「6～8時間未満」と「8時間以上」の選択肢に分割するとともに、「30分未満」と「30分～1時間未満」を統合し、「1時間未満」とする。（別紙1）
- 2 F1欄については、就業の実態を育児との関係から捉えるものとして、平成24年調査と同様、育児をしている者に対して、育児休業等の制度の利用状況を把握することを目的としていることから、育児をしていない者の内訳については区分しないこととしているところである。（別紙2）
- 3 ご指摘を踏まえ、「子の育児をしている」に新たにマーク欄を設置するとともに、「子の育児をしていない」のマーク欄と高さを揃えることにより、「ふだんの1日当たりの家事・育児時間」と紛れが生じないように設計に修正する。（別紙1）

図 1 F 1 欄の調査票（平成 24 年調査）

E 育児・介護の状況について（全員が記入してください）	
E 1 ふだん育児をしていますか ・この設問での育児は未就学児を対象とします ・ここでは孫や弟妹の世話などは育児には含めません ・育児の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください	育児をしている 育児をしていない (E 2へ)
E1の2 この1年間に育児休業などの制度を利用しましたか (利用した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます	した 育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 その他 しなかった

図 2 F 1 欄の調査票（第 2 回部会掲示案）

F ふだんの育児・介護の状況について（全員が記入してください）	
F 1 子の育児をしていますか ・この設問での育児は未就学児を対象とします ・ここでの子育てとは乳幼児の世話や見守りなどをいいます。 ・家事・育児時間については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください ・仕事をしている人は仕事をしている日をふだんとします	子の育児をしている 子の育児をしていない (F 2へ)
F1の2 この1年間に育児休業などの制度を利用しましたか (利用した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます	した 育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 残業の免除・制限 その他 しなかった

図 3 F 1 欄の調査票（修正案）

F ふだんの育児・介護の状況について（全員が記入してください）	
F 1 子の育児をしていますか ・この設問での育児は未就学児を対象とします ・ここでの子育てとは乳幼児の世話や見守りなどをいいます。 ・家事・育児時間については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください ・仕事をしている人は仕事をしている日をふだんとします	子の育児をしている 子の育児をしていない (F 2へ)
F1の2 この1年間に育児休業などの制度を利用しましたか (利用した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます	した 育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 残業の免除・制限 その他 しなかった

F1欄 ふだんの育児の状況について(前回調査との比較)

平成24年調査

就業の実態を育児との関係から捉えるものとして、
〔育児をしている人に対して、育児休業等の制度の利用状況を把握〕

親項目として、
育児をしている人を把握

育児をしている
(未就学児)

育児をしていない
(未就学児がいない、
未就学児がいるが
育児をしていない)

育児をしている人に対して、育児休業等の制度利用を把握

育児休業等制
度の利用状況

就業に関する事項として、育児
休業等の制度利用の状況を
把握

平成29年調査

前回調査と同様、
〔育児をしている人に対して、育児休業等制度の利用状況を把握〕

前回調査と同様、親項目として、
育児をしている人を把握

育児をしている
(未就学児)

育児をしていない
(未就学児がいない、
未就学児がいるが
育児をしていない)

育児をしている人に対して、育児休業等の制度利用を把握

育児休業等制
度の利用状況

就業に関する事項として、育児
休業等の制度利用の状況を
把握

・時系列比較により、育児休業等
の制度の構造変化を把握

育児の頻度
(時間)を把握

追加的に育児の頻度を捉え、
就業との関係を把握

時系列の結果を初めて把握することにより、更なる有用性の向上